



最後の頁を閉じた  
違う私があった



2021・第75回 読書週間  
10/27 ~ 11/9

## わたしの“推し”本

書名 ほんとうのことしなれない 真実の妖精

著者名 マット・ヘイク

出版社 西村書店 東京出版編集部

ご感想、おすすめポイントなどご自由にお書きください。

今年の春、新刊で児童書の棚にあった本です

真実の妖精はどんな時も本当のことを言ってしまうせいで  
友達が出来なくて落ち込む日々。ところが人間の女の子と出会って  
変わっていきます。

児童書なのに おもしろくて ついつい読んでしまいました。

真実の妖精がとても愛しく 幸わせになってネ!、と思いました。

気持ち良く読み終わりました。

